

「外国人住民アンケート」の集計結果を 公開しました



ターゲット 10.2

2026年2月24日

郡山市市民部

ダイバーシティ推進課

課長 石田 佐和子

TEL：924-3358

SDGs ターゲット 10.2 「各国内及び各国間の不平等を是正する」

在住外国人が日常生活において抱える課題やニーズを把握し、今後の施策や事業に反映するため、外国人住民アンケートを実施し、集計結果を市ウェブサイトで公開しました。

1 アンケート調査結果の概要 ※別添のとおり

- (1) 対象：市内に在住する外国人のうち 18 歳以上の者（特別永住者は除く）
3,322 人（基準日 2025 年 8 月 1 日時点）
- (2) 調査方法：対象者にはがきを送付し、はがきに記載している二次元コードを読み取り、市のウェブサイトから言語を選択しオンラインで回答する。
- (3) 期間：令和7年11月7日～11月30日
- (4) 項目：属性、日本語、生活、情報の取得や市の情報発信・相談体制、共生社会への基盤整備等
- (5) 回答数：1,096 件（回収率 33.0%）
- (6) 対応言語：日本語、やさしい日本語、英語、ベトナム語、中国語（簡体字）、タガログ語、インドネシア語

2 公開先 市ウェブサイト>外国人住民アンケート調査結果について

<https://www.city.koriyama.lg.jp/soshiki/34/162925.html>



< 経緯 >

市内の外国人住民は、令和8年1月末現在3,947人、市民の約1.28%の割合で推移しています。2027年から国の技能実習制度が育成就労制度に変更されるなど、今後も外国人人口の増加が想定されることから、外国人を含む市民が安全安心に暮らせる環境づくり、そして選ばれる都市を目指してまいります。

郡山市外国人住民アンケート調査結果報告書（概要）

本市が実施する外国人施策への意識、また在住外国人が日常生活において抱える課題やニーズを把握し、今後の施策や事業に反映し、外国人が安心して暮らすことのできる多文化共生社会の実現を目指すことを目的に、下記のとおりアンケート調査を実施し、調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

記

1 調査の概要

- (1) 調査対象：市内に在住する外国人のうち18歳以上の者（特別永住者は除く）
3,322人（基準日2025年8月1日時点）
- (2) 調査方法：対象者にはがきを送付し、はがきに記載している二次元コード（QRコード）を読み取り、市のウェブサイトから言語を選択しオンラインで回答する。
- (3) 調査期間：令和7（2025）年11月7日～11月30日
- (4) アンケート項目：属性、日本語、生活、情報の取得や市の情報発信・相談体制、共生社会への基盤整備等
- (5) 調査票配布数：3,322件
- (6) 調査票有効回答数：1,096件（回収率33.0%）
- (7) アンケート調査票言語：日本語、やさしい日本語、英語、ベトナム語、中国語（簡体字）、タガログ語、インドネシア語

2 調査結果のポイント（主な上位）

- (1) 属性
 - ① 年齢層（P2）
「18歳～29歳」（53.6%）、「30歳～39歳」（23.6%）、「40歳～49歳」（12.6%）。
 - ② 国籍・地域（P2）
「ベトナム」（20.3%）、「フィリピン」（14.6%）、「インドネシア」（13.8%）、「中国」（13.1%）。
 - ③ 在留資格（P3）
「留学」（25.4%）、「技能実習」（22.4%）、「永住者」（13.3%）、「特定技能」（12.3%）。
 - ④ 同居人数（P4）
「2人」（31.1%）、「1人」（24.7%）、「3人」（22.2%）。
 - ⑤ 郡山市での居住年数（P5）
「1～3年」（50.9%）、「1年より短い」（18.0%）、「4～6年」（11.5%）。
 - ⑥ 理解できる言語（P5）
「日本語・やさしい日本語」（821人）、「英語」（492人）、「ベトナム語」（179人）。

(2) 日本語

① 日本語が分からなくて困るとき (P6)

「市役所から届くお知らせを読むとき」(512人)、「病気になって、症状を伝えるときや問診票を書くとき」(446人)、「困らない」(264人)。

② 日本語の能力 (P8)

話す・聞く・読む・書くのうち「できる」は、「聞く」(37.8%)、「読む」(25.5%)、「話す」(23.4%)、「書く」(23.4%)。

③ 日本語の勉強 (P9)

勉強の有無が「はい」(77.3%)のうち、その方法は、「自分一人で勉強している」(621人)、「学校に通って勉強している」(212人)、「オンラインで先生に教えてもらっている」(113人)。

対話交流型の日本語教室に参加したい「はい」(64.2%)、「いいえ」(10.6%)のうち、「曜日や時間が合えば、学びたい」(181人)

(3) 生活等

① 生活の中で困っていることや不安なこと (P13,14)

「言葉が通じないこと」(449人)、「生活費やお金の問題」(238人)、「日本の生活習慣やルールが母国と異なる」(205人)、「病院や病気、事故」(203人)。

② 仕事 (P14,18)

仕事の有無「はい」(84.2%)のうち、困っていることや不満なことは、「特にない」(353人)、「給料が安いこと」(285人)、「日本語でコミュニケーションがとれないこと」(192人)。

③ 病院 (P20)

病院について困っていることや不安なことは、「特にない」(421人)、「病院や薬局で言葉が通じない」(294人)、「外国語ややさしい日本語で対応してもらえない病院がない、しらない」(267人)。

④ 情報 (P22)

日常生活で必要としている情報は、「郡山市からのお知らせ」(540人)、「災害時など緊急時の情報」(411人)、「税金」(405人)、「医療(病院や予防接種など)」(400人)。

⑤ 相談 (P24~26)

市役所にきて困ることは、「困っていない」(383人)、「手続きする部署がわからない」(330人)、「書類が読めない」(318人)。

相談しようとしたとき困ったことは、「特に困ったことはない」(482人)、「どこに相談すればいいか、分からないこと」(311人)。国際交流サロンを「知らない」(79.7%)。

⑥ 交流 (P26,27)

日本人との交流は、「会社や学校にいる人とだけ付き合いがある」(665人)、「近所で会ったとき、あいさつをする」(521人)、「様々な日本人と交流している」(283人)。

希望する交流は、「日本文化を体験したい、教えてほしい」(560人)、「近所で会ったときに話したい」(538人)、「日本人との交流イベントに参加したい」(476人)。